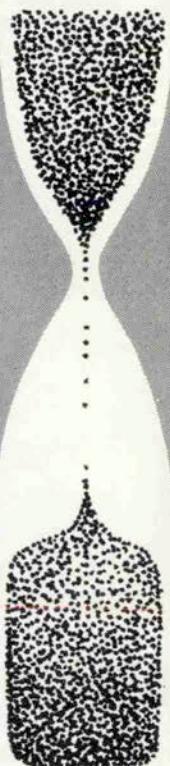


★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



# 国際的なコンベンション シティづくり

—市当局はポートアイラン総局を設置すべきだ—

柏井 健一

（柏井紙業株式会社社長  
神戸経済同友会常任幹事）

鬼塚喜八郎

（株式会社アシックス社長  
神戸経済同友会代表幹事）

木口 中内

力

（株式会社ワールド会長  
神戸経済同友会幹事）

諸岡 博熊

（神戸市企画局参事）

★八〇年代は市民生活のニーズを充足する時代

諸岡 第二次大戦後をラフに眺めますと、二〇年代は戦前の物質生活に戻るための経済開発の時代。ひとつの価値観の下で市民社会は非常に真面目に働いていた。そして、アメリカの物質文明に追いつこうということで、三〇年代は技術導入が盛んとなり我々の社会生活も非常に変化がでてきた。いわゆる多様な価値観が三〇年代から出て来たのではないかと思います。例の六〇年安保で都市の若いインテリ層がラジカルに社会の古い秩序を根底からくつがえし始めたのであります。その結果、四〇年代になつて来ますと、市民社会が価値の多様性を認めるようになって来ました。余暇の問題も出て来ました。しかし、まだ、行政も政治も経済も真面目でした。社会資本が非常に遅れているので、社会開発で、社会資本装備

率を引き上げようじゃないかということで、新幹線がでたり、高速道路ができたりした高度経済成長時代です。日本中を工業化のために都市化し、農村から都市へ人口を大量移動させたわけです。そこに出で来たのが公害とかの工業化のひずみです。行政にも価値の多様化が現われ、革新首長が多数誕生します。四十八年に、石油ショックがきました。高度経済成長で国民の生活水準が急速に上昇したのちにやつてきたのが経済不況、低迷時代なんです。今までは余裕がなかつたのですがレジャーとか、旅行だとか、本を買うとか、音楽を聴きに行くとかいうようないわゆるモノ離れの支出が始まつて生活の豊かさを求めてきました。G.N.P.をみますと、国民の消費支出が半分を占めています。政府の財政支出は一八八一セント、民間の企業支出は一六ペーセントという状態です。そういう中で都市型先端産業、いわゆるいろんな

タイプのサービス産業が非常に伸びて来た。都市における産業のあり方も変つて来たわけです。サービス経済の問題が非常にやかましくなつて来て第三次産業というものが第二次産業の需要をつくるのだということがいわれるようになつて來た。国民生活の豊かさは第三次産業の発展の度合とかみ合うのじやなかろうかといわれるわけです。ここから、産業構造の見直しとなる。産業構造はなぜ変動するかというと三つの要因がありまして、一つは需要の変動によるもの、第二は技術の進歩による構造変化、第三は国際経済の変動によるものですが、特に内需をみますと、これは国民の生活を充足するニーズのための変化が産業構造に変化をあたえるという、つまり、基幹産業先導型でなく消費生活者需要先導論です。生活の充足のニーズをもつと調べるべきだということになつて來ているわけですが、生活の充足ニーズとは、そのパックに生活様式の蓄積があるわけで、すなわち、文化を離れてはありえないのです。つまり、生活の質の向上です。銀行にお金がダブつき出して、長銀の日下公人さんが昨年十一月に文化産業に金を使えと提案し、日下経済界で文化産業論が盛んとなつております。日本びいきのハーマン・カーンが「今日これから日本にとって重要な問題は、新しい意味と新しい目的を発見することである」といつていますが、我々はまさにその時期にぶつかっているのではないかと思います。神戸の産業構造のあり方もそのような立場から、来るべき八〇年代はまさに市民の生活のニーズを充足するという方向へ向うのじやないか。つまり、市民のライフスタイルに産業が対応する時代が來ているのじやないかと思うわけです。昭和五十六年のポートアイランドでの博覧会は来るべき時代の生活様式の模索と産業構造の模索という問題を市民の前にこういうイメージで行きたいと、強烈に訴えることで、神戸経済の浮上があるのでしようか。

中内 二〇〇一年に神戸市の人口を一八〇万人にするとかいうことがマスター・プランとして発表されています

ね。あれが出てから四、五年経つますが、どういう風に修正されるべきかは大きなテーマですね。雇用人口として約三〇〇万増えて来るとして、それを吸収するための産業構造はどうあるべきかということも一向に解つてない。

柏井 第三次産業の比率は大きくなりつつありますよ。

鬼塚 第二次産業はピタッと止つていますね。

中内 第一次産業、第二次産業には雇用吸収力がないといふことでですね。第三次産業、あるいは、第四次産業といわれているもので吸収しないといけない。それと文化産業などをどうかみあわせてこれから神戸の経済をもつて行くかを考えないといけないわけですね。

鬼塚 文化産業が第三次産業の中に多く含まれているということですね。

諸岡 日下公人さんの文化産業論では、文化産業とは文化を創造して、文化および文化的記号を企業としたものだというわけですね。

鬼塚 確かに市民のニーズに立脚して考えないとあらゆることで的が外れて来だした。だからここに重点をおかないと産業といえどもまともな方向にいかないということは確かですね。多様化するからターゲットが分散してしまつて昔のように集中できないということはありますね。文化産業論はそのへんを産業的にどううまくまとめて行くかということになるだろうと思います。

中内 一つの参考資料ですが、昭和五十二年度で神戸市に観光客は一三五〇万人來たそうですね。そして一三五〇億円の充り上げに結びついたというデータを神戸市が発表していました。これは神戸のゴム産業の年間総売り上げとほぼ匹敵する。神戸の観光がかなり大きな産業として成り立つ得るという一つの例じゃないですか。

鬼塚 観光資源をさらにもつと充実して行くということは重要なことですね。

中内 かなり大きなマーケットということですね。大き

★今こそ必要な発想の転換

木口 今 日本はだんだんとアメリカナイズされて来て情緒がなくなつて来て いますね。マンションがどんどん建つて、センター街にても似たようなビルばかりですね。良いものを見つけようという気分にならんですね。店舗をつくれば並べられるだけのものを並べる。情緒も何もなくなつて来ている。



柏井 健一さん



鬼塚 喜八郎さん

柏井 そういう不満感がニーズですよ。それを市民が感じているということですよ。

鬼塚 効率主義の考え方には徹底しすぎて、遊びとか無駄とか、いわゆる余裕が全然ない構造になつて来ている。

木口 博覧会をやるにしてもそういうことを前提に考え

てやらないといけない。便利だから、合理的だから、また、人を集め計算ばかりしていくても計算通りには集りませんよ。情緒がなかつたら、ゆとりがなかつたら遊びがなかつたら。計算だけではダメだということを根本においておかないといけないですよ。

鬼塚 そういうスタイルをポートアイランドにつくり出して行く。

柏井 ポートアイランドには既存の市街地にないものをつくる。ポートアイランドと既存の市街地を合わせて非常に魅力あるものをつくる。それと何といつても神戸のこれから課題はより広域な商圏を確立することだと思いますね。今、神戸に来ている人だけを対象にやっていは限界がありますね。

鬼塚 居住している住民を引き寄せる策と、国内外の観光客を引き寄せる魅力を両方もたんといけませんね。

柏井 神戸市が姉妹提携をしている都市に土地を貸与するという方法でもいいから文化交流的な施設をつくってもらうことを積極的に働きかけないといけないですね。国際交流会館ができたり、国際会議場ができたり、見本市会場ができたり、結局、コンベンション・シティみたいになつて来ると思うのですが、二十四時間都市をポートアイランドに求めるべきですね。

中内 発想を根本的に転換すべきですね。公害のない工場や新しい事業所は積極的に誘致しないといけないし、クルマで買物やレジャーにどんどん来てもらうという発想に変えないといけないのじやないか。たとえばポートアイランドに五千台収容の駐車場をつくる。どこの土地でもやつているようにクルマは締め出す、工場は締め出さということでは将来どうにもならなくなつて来るのでないですか。特に神戸では。

鬼塚 装身具の加工業なんかは、工場で加工するのを見せながら売る。神戸では真珠なんか最適ですね。加工している隣は綺麗なショッピングストア。そういう産業を



諸岡 博熊さん



中内 力さん



木口 衛さん

どんどん誘致して魅力のあるショッピングができるよう

にする。

柏井 もっと長期的に考えて、六甲アイランドというも

のとポートアイランドというものをどう産業構造のなか

に組んで行くかということ、六甲アイランドというも

の形にもつて行くか、ポートアイランドをどう

いう形にもつて行くか。これの組みかえをやつて将来の

予定線を組んでその中でポートアイランドに娯楽施設的

なもの、文化施設的なもの、会議都市的な要素を含める

いろんなもの、海外のいろんな施設をもつて来るなりと

か、南公園すら五万坪の敷地は決まっていますが、中味

は何だと。これがまったく分らないという状況なんですね。アイデアの結集がないんですね。一体どうするの

か。市の方にポートアイランド総局というまとまつたと

ころが欲しいんですね。

柏井 神戸商工会議所の少社会員懇談会でポートアイラ

ンドについて五つ問題点を指摘したんですが、一番の問

題はそれですね。「神戸市において、ポートアイランド計

いう方針を立てないで漠然とできたところから順番にコ  
ンテナヤードをつくつたりというは困る。六甲アイラ  
ンドにもどういうものを誘致するのかということを決  
めて神戸市当局が実際に動かないといけないですね。  
中内 西神にインダストリアル・パークがあつて、北神  
工業団地があるでしょう。この大きなプロジェクトの内  
容はまだハッキリとは決つてないですね。あそこらへん  
とのかみ合わせというか、全体的な調整も考えないとい  
けないでしょうね。

柏井 漠然と埋め立てをして変なところに売つてしまえ  
ばおわりですよ。財政的に可能ならレンタルをやるべき  
だと思います。

諸岡 海外でも港湾都市でオープンスペースのあるとこ  
ろは九十九年間という恒久的なレンタルですね。そこに  
政策が入つて来るんです。政策とは土地利用についての  
問題です。それがきちんとしていて、来て欲しい企業に  
は優遇措置をとつて貸しつける。どちらかというと売ら  
ない。

#### ★「ポートアイランド総局」の設置で窓口の一本化を

画を実施されるにあたっては、市の窓口を一本化されることが望ましく、さらに、インターナショナルスクエアの諸施設を、総合的に企画運営管理していく主体が必要である。全体を運営管理する会社が必要であるということです。神戸市における窓口が全然分らない。ポートアイランド総局を早くつくってくれということをいっておるわけです。国際展示場、国際交流会館、ホテルなどの諸施設を円滑に運営する主体を確立したいということです。

諸岡 行政は首尾一貫してハードを担当し、ソフト面は完全に民間に委せる方針で、町衆の頑張りが欲しい。

柏井 第二点として「ポートアイランドへの進出価値とその経済活動効果を支える財政施策が必要である」。固定資産税の減免とかを含めて企業の優遇を考えないといけないですね。それをやらないと企業は集まらない。

第三点は「商業施設・教育文化施設などについては、三宮都心などの既成市街地との機能分担をはかり、神戸市全体としてのより高い魅力づくりに役立てるべきである」。第四点は「既成市街地とポートアイランド・六甲アイランドを結び、さらに大阪湾臨海地域全体を総合的に連絡する交通体系を整備することが必要である」。第五点は「昭和56年のポートアイランド完成を記念して開催される博覧会は、神戸に対する国際的な期待をうけとめることができたテーマのもとに、充実した内容を計画的に実行協力していく企画であり、かつその中心的施設は都市としての神戸のイメージを高めるシンボル的な利用を将来とも可能にするものでありたい」以上です。諸岡 今までのようないつも価値概念で割り切つて見ようとするのではなくて、バランス感覚で総合的に見て行こうとすることが大事だと思うのですが、その中で文化産業というものをやって行くのにやはり基本になるのは、絵画とか、音楽、造形、文学、そういうような感動の美学というものがベースにないとどんな産業も発展しないと思います。世界共通の美意識というものを追求す

る行政の姿勢、市民の姿勢、企業の姿勢がベースになればどんな産業もあだ花になると思います。

柏井 そういう意味では、ホテルには一番金をかけて文化的なひろばとして値打ちのある場所にすべきですね。中内 ホテルにギャラリーをつくって芸術家に提供しようと考へているんです。かなり金はかかるんですが、建物 자체も神戸らしいフォルムにしようと、今、設計を進めています。大事なことは今、神戸には何が足らないかってことですね。これをもっと追求する必要がある。足らないものをポートアイランドにどうしてもつくらないといけない。

木口 私が一番心配するのは国際会議場やホテルの建設が動き出すと、利権屋みたいなのが一派んにワツと来るんですね。そのときに土地を売ってしまうとホテルはりっぱだけど他はクチャクチャだというものができると思います。それが一番心配ですね。本当をいえば、レントタルでもいい、来て欲しい企業を誘致するということを神戸市自身が打ち出さないといけない。

柏井 とにかくポートアイランドはソフトで行くべきですね。ハードは六甲アイランドへもって行くべきだ。

鬼塚 コンテナ基地なんかは六甲アイランドへ移してもいいわけですね。

木口 ポートアイランドへ行つて見ると、コンテナーヤードがズーッと押し込んで来そうな感じがしますね。見ただけで圧迫感を感じて、これが将来本当にファッショング都市になるのかという懸念がありますね。

鬼塚 とにかくポートアイランドは特別市だという感覚で引きつけないと人は来ないですよ。ああ、素晴らしいところへ来たなというような噂が噂を呼んで人が集まるという町にならないといけない。ポートアイランドが成功するかしないかは都市政策にかかっていると思います。都市政策をビシッとやついたらでき上つたときの成功率は高いですね。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作  
神戸市葺合区旗塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉  
神戸市生田区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

株ワールド

会長 木口 衛  
神戸市葺合区磯辺通3丁目2-17  
TEL (078) 251-5311

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市生田区三宮町1丁目17-4  
センター・プラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

株ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市生田区三宮町1丁目17-4  
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594

入船株

取締役社長 小泉 進吉  
神戸市灘区新在家北町1丁目1-19  
(阪神電鉄新在家南) ブリコビル3F  
TEL (078) 851-3191

キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上7社の提供によるものです。



素材いわいわ、クリーニングもいわいわ  
ファッショ・クリーニング

**ニシルマ**

あなたのファッショを FRESH UP!  
Cotton Cleaners

神戸市東灘区起由通1-10-10 TEL(078)851-2440(代)

山手店 三宮店 熊内店 宝塚店

コーヒー・ゼリー震える  
ひとりの風のテラス

芦屋・山手町 写真 / 米田定藏

**モンル**

芦屋本店 / 芦屋市公光町 9-7 (阪神芦屋駅前)  
TEL (0797)31-1781

岡本店 / 神戸市東灘区岡本 1-10-16 (阪急岡本駅西100米 第2アカギビル) TEL(078)451-8891

## 経済ポケット ジャーナル

★観光も神戸の基幹産業!



うろこの家も連日満員

初めての観光白書を発表  
北野町界わいのゾロゾロ  
歩きをみていると、風見鶏  
ブーム! まだ衰えずの感あ  
り。そして全国の国鉄各駅  
には「ノスルジー・オブ・  
コウペ」のポスターが貼ら  
れて、"観光地神戸"の宣伝  
も勢いさかん。しかし、果

て、"観光地神戸"の宣伝  
も勢いさかん。しかし、果

り。そして全国の国鉄各駅  
には「ノスルジー・オブ・  
コウペ」のポスターが貼ら  
れて、"観光地神戸"の宣伝  
も勢いさかん。しかし、果

り。そして全国の国鉄各駅  
には「ノスルジー・オブ・  
コウペ」のポスターが貼ら  
れて、"観光地神戸"の宣伝  
も勢いさかん。しかし、果



年間の観光客総数は一三三五  
〇万人、総消費額一三三九  
億円と集計、この額は神戸  
のゴム製品製造業の出荷額  
に匹敵するとしている。ま  
た東京と仙台で調べた神戸  
のイメージに対する調査で  
は、年令、性別によつて多  
少のちがいはあるが、概し  
て「異国情緒」と「海のロ  
マン」があげられ、知名度  
の高さでは六甲、有馬、須  
磨、異人館に並んで三宮が  
登場。ファッショニ都市神  
戸の顔として三宮・元町地  
域の街づくりの重要さを示  
している。

★KOBEオフィスレディ★



池沢 仁美さん (25)

〈サンテレビ制作部勤務〉

白書は、観光客動向調査  
と神戸のイメージ調査の結  
果分析からなり、昨年度一

★竹馬産業が七十五周年  
「竹馬のあゆみ」を編纂  
堅実経営と抜群の業績を  
常に保持した第一級の織維  
専門商社として譽れの高い  
竹馬産業株(竹馬準之助社  
長)が創業七十五年を迎  
え、社史「竹馬のあゆみ」を発  
刊。同社は明治三十六年、  
竹馬隼三郎商店として輸入

がまとめられた。

白書は、観光客動向調査  
と神戸のイメージ調査の結  
果分析からなり、昨年度一

十九年、二代目社長に竹馬

准之助氏が就任、社名を現

在の竹馬産業株に変更。氏

は、先代の遺業を継承し、

積極性をもつて緻密な経営

戦略により業績も伸長、現

は、五月に高級吟醸酒「大

吟醸白瑞穂」を発売。正倉

院御物を形どつたガラス製

の容器に入つたこの清酒、

独特・ロツクや冷やで飲む

のに適している。特級七二

〇一千五百円。

金露酒造では、みのりの

秋に見渡す限りの稲穂が朝

日に輝く様子はまるで黄金

になつてゐる。

★竹馬のあゆみ

金露酒造では、みのりの

秋に見渡す限りの稲穂が朝

日に輝く様子は

# 家族で

# 岩のぼりを

松岡 寛一

△画家△

△コース△阪急芦屋川—ロックガーデン—風吹岩—金鳥山—保久良神社—阪急岡本



高座の滝にある祠



ひたすら岩道をのぼる

に注意してひたすらのぼる。のぼるにつれてふりかえる眼下に山と町と海と空が展がる。地獄谷入口にあるゲートロックの崩壊跡の岩壁には若者たちのクライミング姿も見えるし、さらにのぼるにつれて地獄谷と中央稜の間に群立する

阪急芦屋川駅から川沿いに北上し

てもなくY字形にわかる道を左へ、すぐまた北へのぼる。住宅街をはなれて谷沿いとなる道がつきあたると茶店の軒をくぐつて高座ノ滝へ出る。滝壺左手の崖道をのぼると眼の前に岩稜がつきあげている。これがロックガーデンのぼる岩谷。右手はよく見えないが高座

ノ滝の上流の高座谷。

さて、ロックガーデン中央稜は踏み荒らされた岩稜で、どこを踏んでものぼれるが、なるべく赤ペンキ矢印をたどるのが安全。足元



「風吹岩にて」

奇怪な形の岩峰群の風景がひらけてくる。若者たちがザイルさばきやアイゼンワークを試みるゲレンデもある。



風吹岩でスケッチをする筆者

二個所ほど送電塔のある地点をすぎると黒ずんだ岩が小さい城門のようにそびえる地点へ出る。いまは風化と崩壊で貧弱になつた風吹岩である。その上部へ出るとこはロックガーデンの展望台。万物相、墓場などとそれぞれ名づけられた奇怪な形の岩峰やA懸、B懸とよばれる岩場。少し山好きな若者が同行すれば得意顔で展望台からのその眺望を説明してくれるはずだ。



いたる所に標識がある

北へ雨ヶ峰、本庄橋をへて六甲最高峰へとづくが、本日の神戸つ子家族向きコースはこの風吹岩から保久良神社へ下山道をたどる。



小学生も遠足に来るコースだ

風吹岩の鉄塔の裏から砂地の斜面を下る道が西南へ曲る。よく踏まれた小ひろい山道を少しのぼるとあとは下りばかり。右手西側に植林されたハリエンジュの林が、季節によつては白い花をつらねる。木製の腰掛がある休憩地に出るこのへんでふりかえると、いつのまにか通りすぎて、あ、あれか、と気がつくササ原の小山が金鳥山である。南の眼下にくろぐろと深い緑の樹林が見えるが、これが保久良神社の森。それを目ざして階段をどんどん下ると年ぶりのヤマモモの巨木が梢をひろげる保久良神社の境内へまわりこむ。あと



## ロックガーデン-金鳥山-保久良神社 家族向 7キロ

(逆コースのときは、ロックガーデン岩棧の下りが老幼者向きではないので要注意。)



保久良神社あとは舗装道の下りだけ

は神社正面の舗装路を下り、住宅の中を南へぬけて、やや西寄りの阪急岡本駅へ出る。

# 北部の展望 と山ツツジ

嶋田 勝次

△神戸大学工学部教授▽

△コース▽

六甲ケーブル下—アイスロード—前が辻—ダイヤモンドボイント—地獄谷西尾根—神戸電鉄大池駅—(電車)—有馬—(ロープウェー・ケーブル)—六甲ケーブル下

六甲山を南北に上り下りするコースはたくさんあるが、その中でも由緒あるアイスロードから地獄谷西尾根への道は、四季それぞれの楽しみがあると思われる。

阪急六甲駅午前九時集合。市バ

ス⑯系統六甲ケーブル土橋駅終点

下車(海拔250M)すぐ西の元

ドライブウェイをスタート。ダイ

ナミックなパイプ構造の六甲新大

橋の下をくぐり、ドライブウェイ

の交叉点から真直ぐ山道に入る。

戦前あつた六甲ロープウェイ駅跡

の無残な姿の横を通り、車道を横断して、やつと車と別れる。標識通り谷道に入つて少し登ると行く手

に二つの堤防が現れる。右が真水

谷、この渓流を登るとケーブル山

上駅の方向で墨岩に出る。今日は左の前が辻谷を登るのである。



アイスロードの登り



ダイヤモンドボイントにて

さあこれからアイスロードの急登である。落ちた椿の花や時期遅れの満開の桜などに迎えられ、小休止して神戸市街地の展望を振り返りながら、三井物産六甲荘の鉄筋三階建の横にたどりつくと前が辻(760M)への登りは終り。



一キロも行くと、パッと視界が開け、ダイヤモンドボイント(745M)へ到着である。十一時五十分このダイヤモンドボイントの台地は、六甲山上でも数少ない北部の展望台であろう。播州から丹波の山波を背景に、雄岡山・雌岡山・丹生・帝釈から三田富士などを手近かに望める嬉しさは格別である。またこの展望の中での楽しい昼食

甲山上の池に張りつめられた氷をこのアイスロードは、明治期六

はメンバーの腕の見せ場でもある。とりわけ同行の諸博熊氏の、うどんからコーヒー、そして抹茶の野点までの店開きは、どう表現したらいいだろうか。とにかく生活の知恵がいっぱいである。

出発は午後一時十五分。

ここから北へどんどん下つて行く。西が石楠花谷、東が地獄谷であるが、しっかりと尾根道で不安はない小さなコブを二、三越える。その中の高いコブが水晶山(700M)であるが、それも分らないまま過ぎる景色のよい岩場で休む。ウグイスの声と山ツツジがわれわれを包んでくれる。対岸の山肌も紫色いっぱい。この季節でないと見られない自然の色であろう。左と右の下に真新しい堤防が見え始める、山道は尾根が終つて、右へ一



アイスロード—地獄谷西尾根  
一般向 9キロ

今日の山歩きの終点である。  
ここからは開発団地中を東北へ抜けて三十分で神戸電鉄の大池駅に着く。三時二十分。ここからはもう新開地経由で帰るか、一寸有馬まで足をのばして帰るか、迷うところである。今日は有馬温泉



大池壠堤上の広場。今日の終点

気下ることになる。二時十五分地獄谷道まで下り切る。最近新しく巾広く整備されたらしい川沿いの道を十分も北へたどると、広い堰堤上の広場に出る(365M)。

甲有馬ロープウェーで雲上の人となつて帰る。

同行の永楽孝一氏から詩をいただいたので、掲載させていただく。

#### 回顧の「アイスロード」

永楽 孝一

アイスロード  
六甲山の天然水を背負つて  
この道を降り

麓の町家へ供給して

生活の手段にしたといふ  
古い道筋を想出し乍ら

残春のあでやかなものと

やまぶきのゆたかな、たゆたいを  
迎え、見送つての一歩一歩だ、

若い日真水谷の巖壁岩へ  
ビトンを打ち、ザイルを揚ませて  
攀ち登った仲間の大方は  
既にこの世から失せ去ったが  
今日通る山路に、回想の糸は  
過去へ、過去へとのびてゆく——。

六甲山ハイキングガイド ▲3▼

# 最高の眺望

## 天狗塚

諸岡 博熊

八神戸市企画局参事▼

△コース△

阪急六甲—伯母野山—長峰山（天狗塚）—袖谷—自然の家—字ガ辻—前ガ辻—記念碑台—凌雲荘下—石切道—白鶴美術館—阪急御影

神戸の背山、六甲山はバラエティに富んだ山系である。名著「六甲山ハイキング」の著者、大西雄一さんの言によれば自然と市民が素直にとけあつて、これほどの山は少なく、年齢、性別、趣味、能力を問わないで、四季を通じて家族連れから健脚、アルピニストの養成まで満足させ楽しめてくれるところである。

とはいって、六甲山をなめてかかってはいけない。どのようなときでも着替え、救急薬、雨具、懐中電灯、予備用非常食、地図とコンパス、水筒、そしてリュックを濡らさないようにリュックカバーは用意して出掛けたいものである。

また、ゴミは必ず持ち帰るようにしたい。

さて、このコースは、健脚向き



さびしい登り坂が続く



みよし観音前にて



天狗塚に到着 パンザーライ

甲学院のある伯母野山記念碑まで一・五キ。標高三〇〇メートルであるが舗装された急坂を案外すいと登る。この間約三十分。伯母野山を過ぎると完全に山道となるので水を天狗塚まで飲まないよう各自で自戒する。山の神が祭つてあるところを過ぎてから、いよいよ急坂にかかる。椿のトンネルを通り階段にかかり出すと、足の弱い人はバテ気味となる。送電鉄塔の下で始めて小休止。九時。日陰がないので、汗を猛烈にかく。記念碑から天狗塚まで二・五キ。標準で一時間半ないし二時間である。足の遅い人を先に登らせて、われわれはあとからゆっくりとついていく。草原の防火線を登る途中、外人とスレ違つた。この人は、毎土曜日伯母野山の自宅から天狗塚まで登っているとのこと。われわれ一行の靴をみて、「ゆっくり登りなさい」といって元気に下つていた。

九時四十分、六四五筋のコブに到着。Y字型の道を右へと。少し下つて林間を通り、再び登つて、

三宮あたりから六甲山方面を眺めると、その手前、摩耶山の東隣りに、防火線が幅広く頂上に伸びているずんぐりとした草山がみえて出発。

であるので、心と体の準備を一週間前から、さらに装備も十分点検して出発。

これが目指す天狗塚で別名長峰山（標高六八七メートル）と呼ばれる。同行者吉田稔郎さんは生まれて初めての熟練者向きのコースに挑どむ。あの二人はペテランの小阪急六甲駅を八時過ぎ出発。六

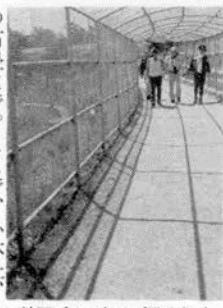
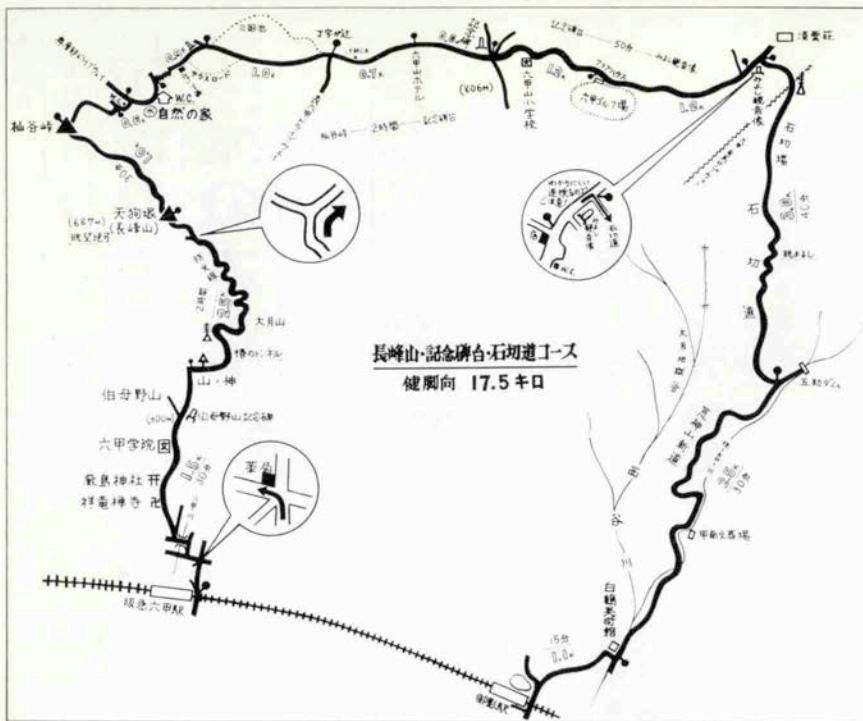
つぎのコブにつく。ここもまた右へとコースをとり、下つて登るところ、目の前に突然、天狗塚が出現した。一同元氣百倍。天狗塚の頂上、四等三角点のある岩によじ登り、神戸の市街地を眺める。摩耶ロードウェイ、表六甲ドライブウェイエイが手にとるようにみえる。残念ながら春霞のため遠望があまり

きかない。ここで初めて冷たい水を飲む。小西さんが氷を持ってきたので、水をかけて飲む。十五分休憩する。天狗塚の登りの苦しいのは「山の神」から最初のコブまでの約一時間少しであろう。

自然の家に十一時到着。付近で星食をとる。メニューは、うどんぜんざい、ゴーヒー、みかん、赤飯、お茶といったフルコースを揃帯コントロとコツヘルで、手際よくつくる。

よく整備されたコースを登つたり下つたりして約三十分で一・五キ

長峰山・記念碑台・石切道コース  
健脚向 17.5キロ



三時半。けなげなスチュワーデスを祭った「みよし観音」を拝んで、三十肩ほど石畳を登ると、石切道入口の道標がみえる。柚谷峠からここまで約六・五キロの樹林を下る。白鶴美術館まで四・五キロという道標までがゴロゴロした石切跡の山道、それからは、ダム工事用の自動車道に沿ってダラダラと下っていく。観音像から下り約五・五キロを一気に下って、十五時、美術館前到着。小走り嚴禁。山は下りで膝を傷めないようゆっくりと歩くことがコツである。

# 椿散りしき

## 渓流のみち

大西 雄一

△六甲全山縦走市民の会会長△

△コース△ 布引市ヶ原—地蔵谷ダム—地蔵谷奥ダム—天狗道出合—摩耶山上遊園地—袖谷ダム—護国神社

△の時水池や市ヶ原についてはよくご承知でしようから省略しますが、その市ヶ原の奥の桜茶屋から北へ

△渓流沿いの道をいくと、大きなダムにあります。このダムの上手は広い河原で、いつも若い人や家族連れで賑わっています。ここからま

△すぐ広い渓流を遡るのがトウエンティクロスのハイキングコースです。この河原の左岸に摩耶山頂から伸びてきたふたつの大きな

△ご存じですか。

△きれいな渓流がせせらぎ、落葉の深いしつとりした小径には、やぶ椿の紅い花が、まるで絵画の絵模様のように散りしている。みあげる碧空には辛夷(いぶし)の花びらのま白なのが映えて眩しい。△渓谷はカラリと明るく、あなたの歌声を響かせるが、時として鬱蒼とした深谷となり、苔むした巨岩の重なりの間を、清流が奔り、椿や辛夷の花が流れれる……。

△こんなコースをご存じですか。

△いえ特別のところではございません。ついそこに、あなたの目と鼻のところ……バスをおりて僅か一時間あまりで行けますよ。△家族連れのハイキングにいかがですか。△ご案内いたしましょう。

△お馴染のハイキングコース布引



苔むした岩の間にせせらぎが



大西一さん(地蔵谷)

(南)が天狗尾根、それに相対する北側が黒岩尾根、その間に挟まれた渓谷が、今日おすすめする「水奔り、椿散りしく山径——地蔵谷」です。

△清冽な渓流に寄り添うて馬酔木と椿の林の中を、落葉のふかい気持ちのよい細径が、ずっと続いている。道標もよく整備されているので、安心して歩けます。何度も滝を避けて高巻きしますが、時々は径からそれで渓流におり飛石伝いや岩床を伝つて沢通しをいくのも興味をまして面白く、気にいつ



△椿のじゅうたんが趣深い

△谷が明るくひらけ傾斜のある赫茶けた岩床地帯を水が細々と流れる地点をすぎると、やがてちいさなダムに突き当る。ここで地蔵谷は終わります。ダムの手前から右の尾根筋にとりつき、林のなかを大きくひらけ、ムードがガラ

と変化します。摩耶山頂へはいま一息の頑張りだが、この急な尾根道も元気な坊やらにはすばらしい冒險の試みで、きっと大喜びでしょ。

摩耶山頂の遊園地からは、あなたのご都合次第。ロープウェイ、ケーブルで市街へおりてもよし。

幽しいな森林のなかを天上寺参詣もまたよろし。今日のあなたはまだまだお元気なようなので、帰り途は、ひとつきびしいコースをトライしてみましょう。

八州嶺展望台(遊園地の東南端)  
の横から踏み跡径を一気に五〇メートル余り急降下すると樹間の小

徑に出合う。右は森林帶を天上寺へ、左はこれから行く山寺尾根道。平均斜度三〇度、馬の背状の尾根筋をグングンと降りにくだる。太ももの筋肉が張り、膝小僧がガクガクする。急がず慌てず、一步一歩、堅実に身体をおろしていくのがこんな場所での要領です。きっと降りでご苦労さんですが、その代り景色は抜群で充分に愉しめますよ。高圧線の鉄塔の辺りからはアカシヤの森で美しく、やがて柚谷ダムの広い河原におりたつ。



三の扇根を一気に降りてくると膝小僧がガタガタする

柿谷ダムからはまもなく市街へ  
おりますが、カナディアンアカデ  
ミイ——長峰中学——護国神社の  
コースをおすすめします。この坂  
道は、山と海と洋館とが渾然一体  
となつた景観で、神戸らしい魅力  
があります。

